



●27年法話会 今回は「いのち2」です。

前回は、DVD「ぶたがいた教室(30分)」を視聴し、話し合い法座では、お互いの考え・意見を認め合いながら、「いのち」について考えました。

今回は、「いのち」についてまとめのお話をさせていただきます。

◆まとめ

★不殺生戒(ふせっしょうかい=生きものを殺してはいけません。)

自力聖道門・じりきしょうどうもん の教え。

★不殺生戒を守れるか?

他力浄土門・たりきじょうどもん (浄土真宗 生きものを殺さずには生きられないの自覚)

★「やれ打つな 蠅が手をすり 足をする」(浄土真宗の門徒 小林一茶 釋一茶)

殺さないでくれ。合掌して、いのちごいをしているのか、蠅よ。

「蠅ひとつ 打てば なもあみだぶつかな」(同上)

不殺生戒を護らなくてはいけないと聞いてはいるが、いのちを奪ってしまったわたし。

★いのち年(いのちのルーツをたどれば、私の年齢は、40億68歳 住職)

★一切の衆生(しゅじょう) 世々生々(せせしょうじょう)の 父母きょうだいなり

(歎異抄 親鸞聖人の言葉)

すべての生きとし生けるものは、長い間、生まれ変わり、死に変わりしながら、ある時は父になり、母となり、きょうだいとなった深い縁に恵まれた存在である。

★生きとし生けるもの(衆生)、いのちのルーツは同じ。

いのちは、平等。害してはならない。(害虫・・・人間のおごり。自己中心の考え。でも、殺さずにはおれないわたし。)

動物の世界は、生きるため最小限のいのちしか奪わないと言われている。

人間の世界は、・・・・・・・・。

大食い選手権? 食べ物のぶつけ合い?(メディアにたれ流される娯楽番組。楽しんで? 見る人がいるから制作される?)

食べ物の大量廃棄(食品衛生上の場合があるにしても)

【世界中には、飢餓により、餓死している、戦争によりいのちを奪われている、多くの子どもたちがいます。】

★食事の言葉(浄土真宗本願寺派)

食前(合掌) 「多くのいのちと、みなさまのおかげにより、このごちそうをめぐまれました。

深くご恩を喜び、ありがたくいただきます。」

食後(合掌) 「尊いおめぐみをいただき、ますます御恩報謝につとめます。

おかげでごちそうさまでした。」

合掌の心とは

合掌の姿は、人間の最も美しい姿のひとつだといわれています。

合掌の形は、蓮華(れんげ)の華が、今まさに咲こうとしている姿を現しています。

蓮華の華は、にぎりきった汚泥(おでい=煩惱 ぼんのう)の中から生じながらも、汚れることなく清らか(悟り お浄土の世界)に咲くように、喜怒哀楽(きどあいらく)の生活を離れられない苦しみ、悩みのまっただ中で、救われていく、お念仏の世界をあらわしています。

お念仏を称え、阿弥陀如来の御本願に救われていくことを喜ぶ念仏者を、お経には、

「是人名分陀利華 ぜにんみょうふんだりけ」=(この人を白蓮華 びやくれんげ と名づけます。)と讃えています。